量に応じて価格上昇分を支援する補助金を交付するもの。

問 制度を知らずに申請できない事業者が生じないようにする必要があると思うが、対象者への周知はどのように行うのか。

答 本補正予算を可決いただければ、市のホームページや公式ライン、市独自にアンケート調査をさせていただいたLPガス販売事業者やLPガス使用事業者への個別案内等により事業概要を周知していきたい。

問 国の重点支援地方交付金を活用するとのことだが、LPガス使用事業者への支援というのは国の方針なのか、それとも市独自で決定したものか。

答 ガソリンや電力については、国から直接措置されているため、市としてはLPガス使用事業者への支援を実施しようと考えている。

問 申請の受付期限はいつ頃を予定しているのか。

答 12月末を申請書の提出締め切り予定としている。10月中旬頃から申請書の受付を開始し、審査後、順次補助金を支出していきたいと考えている。

◆水田農業生産体制強化支援事業費補助金について

説明 水田農業の生産性や供給体制を強化するために導入する、トラクタとグランドロータリーの購入費の支援を行うもの。

問 補助金があるものの、自己資金も一定額必要になってくる。資金の借り入れが必要な方もいると思うが、金融機関やJAとの連携はどのようにされているのか。

答 本事業においては、農業者への事前聞き取りの時点で、自己負担額について、自己資金で対応されるか、借り入れを予定されるかを確認している。借り入れを予定される場合には、利子補給等が活用できる有利な融資制度を紹介している。また、国や県の補助事業の要望調査があった際には、農業者とのつながりが強く、日頃から相談等を受けているJA愛媛たいきに情報を提供している。

問 昨年は米価格が上昇していたが、今年は米余りが発生して価格がかなり下落している。このような状況下では、継続的な水田農業を行っていく意欲も生じにくいのではないかと思うが、水田農業に対する国からの支援はないのか。

答 現時点では、現行制度における直接的な補助はない。ただ、持続可能な農業をしていくうえで、米価格の過度な変動には早期の対策が必要となるため、県の市長会を通じて、適切な価格形成をしていただくよう国に要望していきたいと考えている。

要望 我々は我々の立場でしっかり国に対して要望をしていくので、市の関係者の方々にもご尽力いただきたい。

◆市道河向線測量調査設計委託料について

説明 柳沢地区において橋桁が沈下した小屋床橋の撤去に伴い、矢落川上流へ迂回する代替道路として市道河向線を整備するための測量設計を行うもの。

問 ４月に地元自治会から、「小屋床橋の崩落に伴う早急な復旧対応に関する要望書」が提出されているが、工事完了はいつ頃になるのか。

答 工事を早急に行う必要があるため、今回の補正予算で測量設計を行ったうえで、来年から３か年程度で工事を実施したいと考えている。

問 迂回路の詳細を教えてほしい。

答 矢落川上流側に七曲橋という橋があり、そちらへの迂回路を整備するもの。

要望 地盤が柔らかいため難しい工事とも聞いている。用地買収の問題もあると思うが、できるだけ迅速に対応してもらいたい。

議員研修会（令和８年８月25日）

演題
『議員のコンプライアンス
「やるべきこと」と「やってはいけないこと」』

